

「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／ 人協調ロボティクス及びバーチャルエコノミーにおける 総合調査研究及び事業運営支援業務」

～公募説明会資料～

2026年1月16日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
自動車・蓄電池部 SIPチーム

【説明会での注意事項】

- 本説明会は事務局にて録画をさせていただきますので、ご了承ください。
- 説明中はマイクをミュートにしてください。
- 説明会中に音声聞こえない等支障がありましたらチャットでご連絡をお願いします。
- 質問がある場合はTeamsの挙手ボタンを押してください。
事務局で指名いたしますので、指名を受けた方はミュート解除して質問をお願いします。所属組織名は述べていただくなくても結構です。
- 質疑応答後、マイクをミュート、挙手ボタンを解除してください。
- 質問の内容は本公募に関する事柄に限定させていただきます。

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

<SIPの仕組み> ※赤字はSIP第3期で強化する取組

- 総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が、
Society5.0の実現に向けてバックキャストにより、
社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な課題を設定
- CSTIがプログラムディレクター(PD)・予算配分をトップダウンで決定。
- 基礎研究から社会実装までを見据えて一気通貫で研究開発を推進。
- 府省連携が不可欠な分野横断的な取組を産学官連携により推進。
マッチングファンド等による民間企業の積極的な貢献。
- 技術だけでなく、事業、制度、社会的受容性、人材の視点から社会実装を推進。
- 社会実装に向けたステージゲートやエグジット戦略(SIP後の推進体制)を強化。
- スタートアップの参画を積極的に促進。

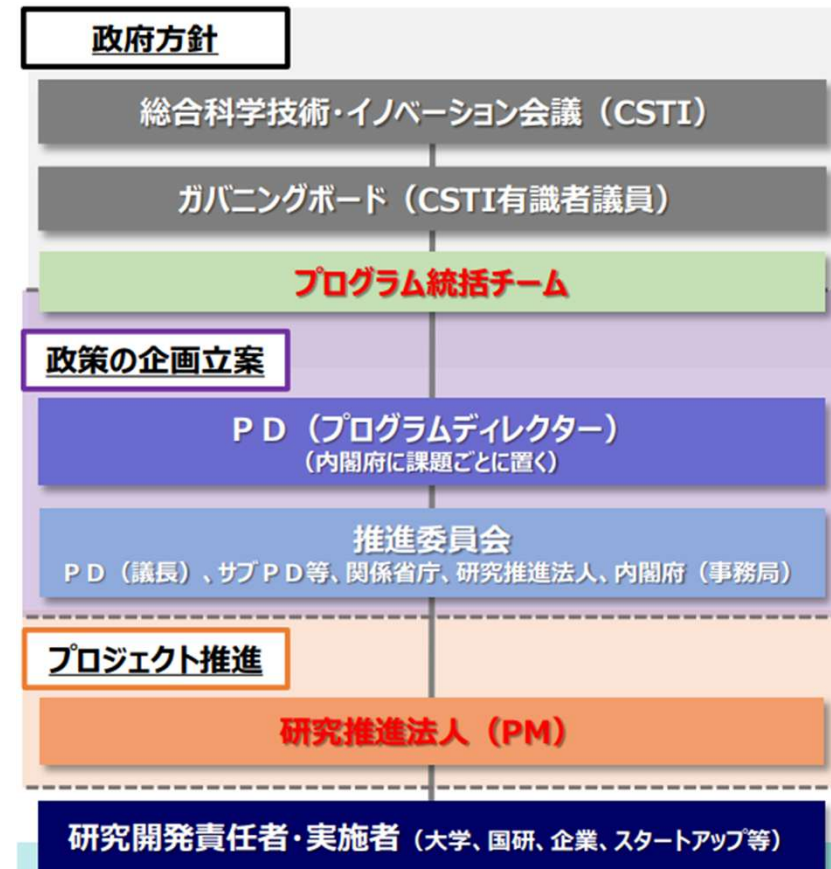
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

<SIPの推進体制>

- 右図参照

<事業期間・課題数・予算額>

- 事業期間
 - 2023年度～2027年度(5年間)
- 課題数
 - 14 (NEDO担当は3つ)
- 予算額
 - 令和5年度予算:280億円
 - 令和6年度予算:280億円
 - 令和7年度予算:280億円



戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期の課題

- SIP第3期では14課題を設定し、研究開発を実施(NEDOは3課題を推進)。
- 今回、「人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」及び「バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」の調査分析・業務支援が公募対象

<p>豊かな食が提供される 持続可能なフードチェーンの構築</p> <p>松本 英三 (株)J・オイルミルズ 取締役常務執行役員</p>	<p>スマート防災ネットワークの構築</p> <p>横 浩一 東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授</p>
<p>統合型ヘルスケアシステムの構築</p> <p>永井 良三 自治医科大学 学長</p>	<p>スマートインフラマネジメントシステムの構築</p> <p>久田 真 東北大学大学院工学研究科 教授 新インフラ・マネジメント研究センター センター長</p>
<p>包摂的コミュニティプラットフォームの構築</p> <p>久野 達也 筑波大学大学院 人間総合科学学際院 教授 兼 筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長</p>	<p>スマートモビリティプラットフォームの構築</p> <p>石田 東生 筑波大学 名誉教授</p>
<p>ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する プラットフォームの構築</p> <p>西村 顕弘 三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長</p>	<p>人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備</p> <p>山海 嘉之 筑波大学システム情報系教授 兼 サイバニクス研究センター研究部長 兼 本邦最先端工学研究センター長 / COE(POINTE) 代表副研究員・COE</p>
<p>海洋安全保障プラットフォームの構築</p> <p>石井 正一 日本 CCS 調査(株) 顧問</p>	<p>バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備</p> <p>持丸 正明 (国研)産業技術総合研究所 人間基盤研究センター 研究センター長</p>
<p>スマートエネルギーマネジメントシステムの構築</p> <p>浅野 浩志 岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一社)電力中央研究所 研究アドバイザー / 東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授</p>	<p>先端量子技術基盤の社会課題への応用促進</p> <p>寒川 哲彦 日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 首席理事 基礎・先端研究プリンシパル</p>
<p>サーキュラーエコノミーシステムの構築</p> <p>伊藤 耕三 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授</p>	<p>マテリアル事業化イノベーション・ 育成エコシステムの構築</p> <p>水嶋 祥介 ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役パートナー</p>

https://www.sip.go.jp/assets/pdf/sip_bridge_concept_book.pdf

プログラムディレクター(PD)



01 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築

松本 英三

(株) J-オイルミルズ 取締役常務執行役員



02 統合型ヘルスケアシステムの構築

永井 良三

自治医科大学 学長



03 包摂的コミュニティプラットフォームの構築

久野 譜也

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 兼
筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長



04 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

西村 訓弘

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長



05 海洋安全保障プラットフォームの構築

石井 正一

日本CCS調査会 顧問



06 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築

浅野 浩志

岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一財) 電力中央研究所 研究アドバイザー /
東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授



07 サークュラーエコノミーシステムの構築

伊藤 耕三

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授



08 スマート防災ネットワークの構築

楠 浩一

東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授



09 スマートインフラマネジメントシステムの構築

久田 真

東北大学大学院工学研究科 教授 兼 インフラ・マネジメント研究センター センター長



10 スマートモビリティプラットフォームの構築

石田 東生

筑波大学 名誉教授



11 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備

山海 嘉之

筑波大学 システム情報系教授 兼 サイバニクス研究センター 研究統括 兼 未来
社会工学開発研究センター センター長 / CYBERDYNE(株) 代表取締役社長・CEO



12 バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備

持丸 正明

(国研) 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長



13 先端量子技術基盤の社会課題への応用促進

寒川 哲臣

日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル



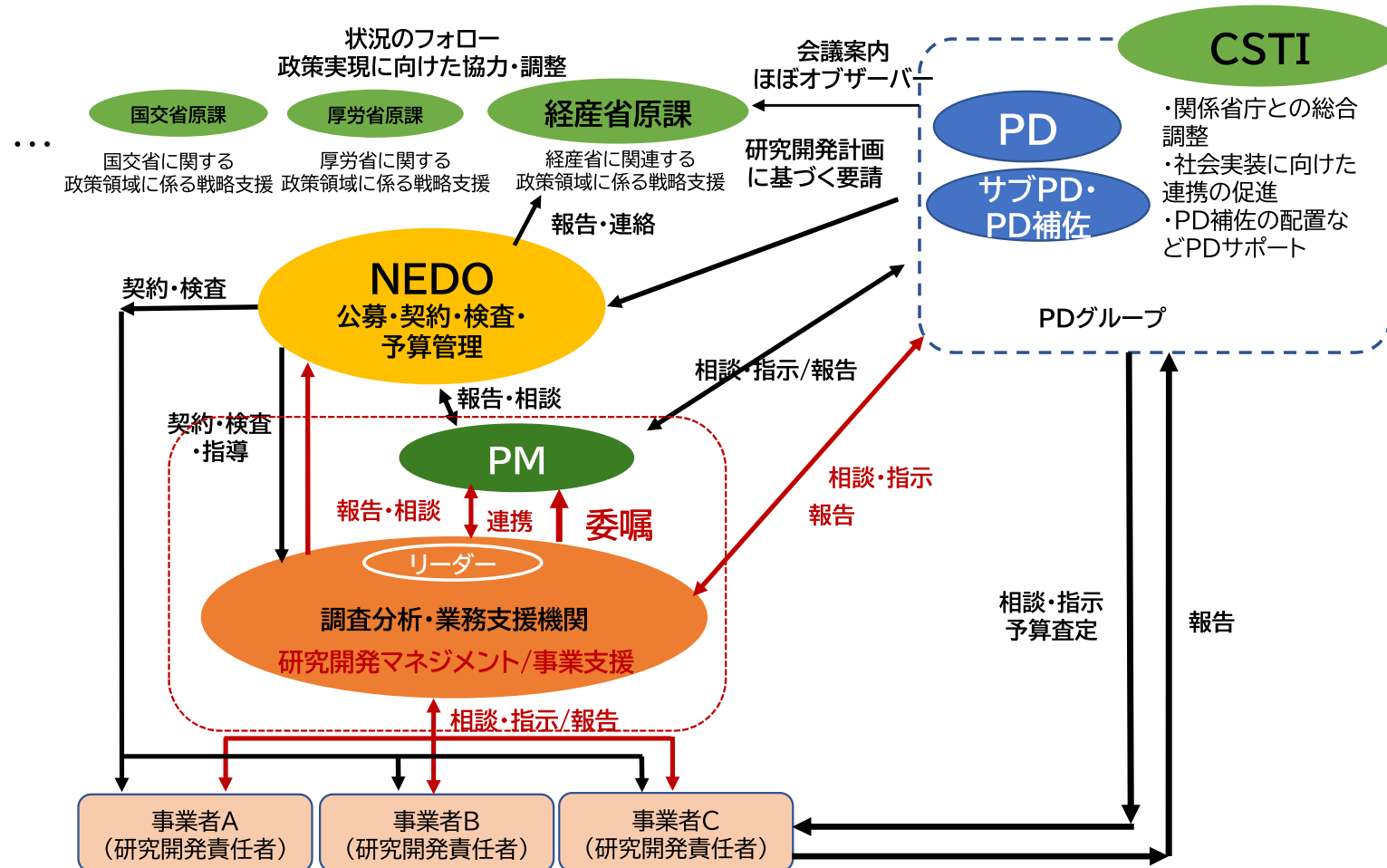
14 マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築

木場 祥介

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役パートナー

調査分析・業務支援の実施体制

調査分析・業務支援の業務範囲(赤文字)



今回(2026年度)実施する公募について

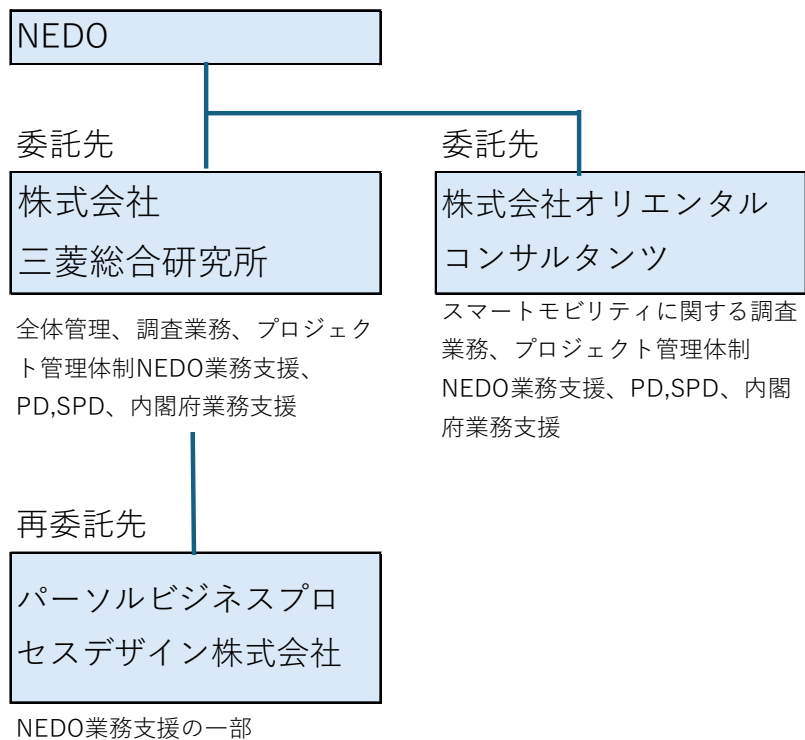
- 2023年7月に、調査分析・業務支援の公募を実施(契約期間は2023～2025年度)
 - https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3_100332.html
- スマートモビリティは、現在の調査分析・業務支援機関が2027年度まで契約延長
- 人協調ロボティクス／バーチャルエコノミーは契約延長せず、
2026～2027年度の調査分析・業務支援機関を新規公募**

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
スマートモビリティ プラットフォームの構築	公募・採択審査	【契約延長】 2026～2027年度			
人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備		三菱総研(全て)・ オリコン(スマモビのみ) 2023～2025年度		【今回の公募対象】	
バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備				【今回の公募対象】	

調査分析・業務支援の実施体制(2023～2025年度)

・ 現行

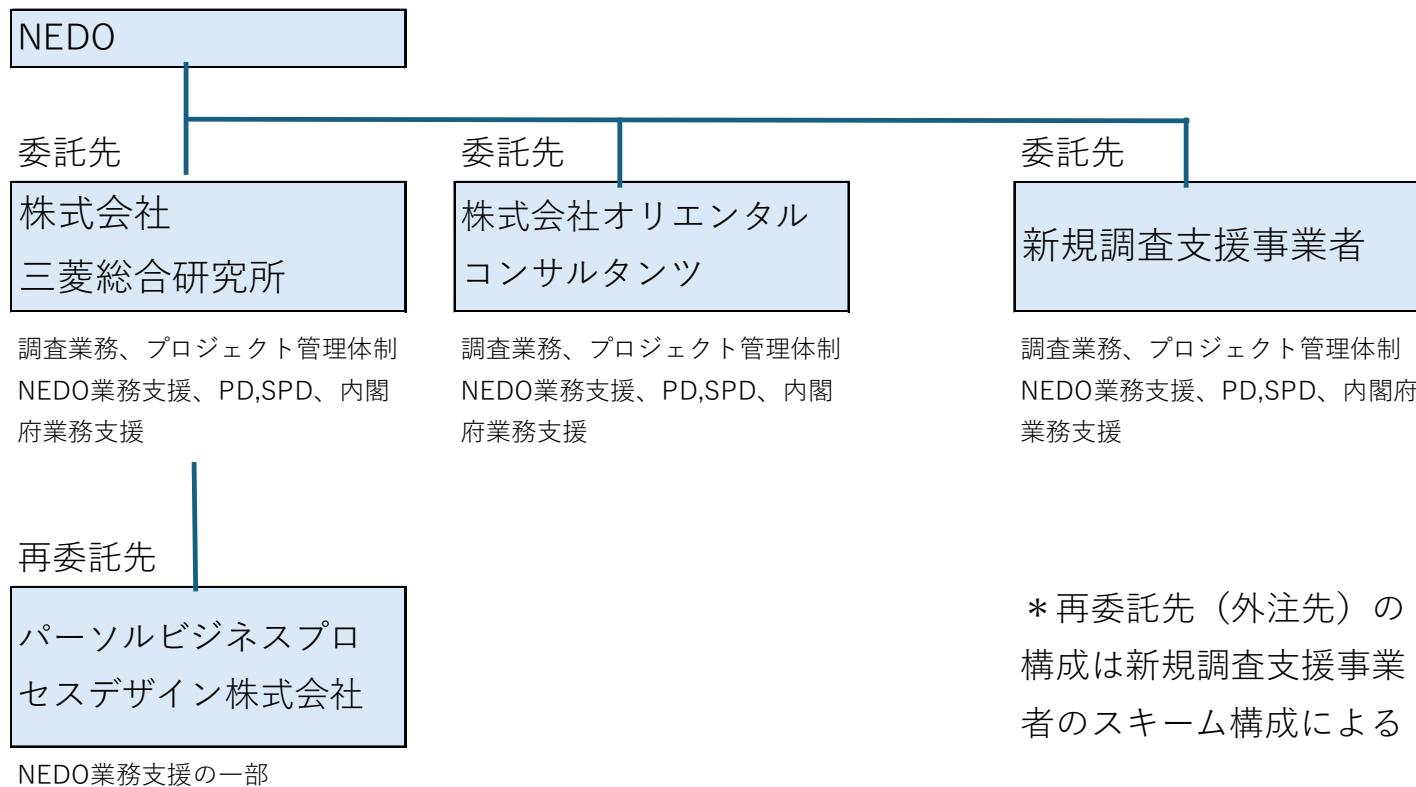
スマートモビリティ
人協調ロボティクス
バーチャルエコノミー



調査分析・業務支援の実施体制(2026～2027年度)

• 新体制 スマートモビリティ

人協調ロボティクス
バーチャルエコノミー拡大



今回実施する公募の概要

公募概要

- **業務名**

- 「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／人協調ロボティクス及びバーチャルエコノミーにおける総合調査研究及び事業運営支援業務」

- **業務概要**

- PDの要請に従って、研究推進法人(NEDO)のもとで、実施される前述の3課題の円滑な研究開発の推進にあたり、NEDOの運営を円滑に推進していくことを目的として、事業遂行に必要な周辺動向(技術、政策等)の調査、及びNEDOの運営業務の支援を行う。(契約の対象は2課題)

- **実施期間**

- NEDOが指定する日から**2028年3月31日まで**
 - 契約については、**2026～2027年度の複数年度契約**の予定。

- **予算規模**

- **21,664 万円以内(2026 年度)**
 - 予算の範囲内で採択します。なお、2027 年度の予算規模も 21,664 万円を予定していますが、SIP は毎年度の評価結果を踏まえて予算の配分額の決定及び調整が行われるため、予算規模は変動する可能性があります。

- その他詳細は「仕様書」を参照してください。

公募スケジュール

- ・公募開始 2026年 1月 9日
- ・公募説明会 1月16日
- ・公募締め切り 2月 9日正午
- ・採択審査委員会 2月下旬～3月上旬＊
- ・採択通知 3月中旬～下旬
- ・契約・業務開始 2026年 4月

＊外部有識者による採択審査委員会で審査の上、その結果を踏まえて、NEDO内の審査委員会を経て、最終的な実施者を決定します。

＊採択審査委員会ではヒアリング審査を実施する予定です。
また、必要に応じて資料の追加提出、代表者面談等をお願いする場合があります。

なお、採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。

公募(2026/1/9公開 https://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100350.html)



本公募 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／人協調ロボティクス及びバーチャルエコノミーにおける総合調査研究及び事業運営支援業務」の公募について

2026年1月9日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／人協調ロボティクス及びバーチャルエコノミーにおける総合調査研究及び事業運営支援業務」の実施者を広く一般に募集しますので、本件について受託を希望する方は、以下に従ってご応募ください。

募集事業について

1. 事業内容

(1) 概要

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」に基づき、NEDOは研究推進法人として研究開発の推進のためのマネジメント業務を行う必要があります。

本調査では、下記の2課題について2026年度以降の2年間の円滑な研究開発の推進にあたり、必要となる調査分析及び業務支援を行います。

【調査分析及び業務支援する対象課題名】

- ・ 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
- ・ バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備

(2) 事業期間

NEDOの指定する日から2028年3月31日まで

調査分析・業務支援の業務内容

調査分析・業務支援の業務概要

- NEDOが担当する課題3テーマの円滑な推進にあたり、総合調査研究及び事業運営支援を行うこと。**提案は対象の2課題に対する業務内容**とする。

(A) 調査業務

(B) プロジェクト管理体制

- (a) PMの委嘱
- (b) プロジェクト管理体制の整備
- (c) 委員会の設置
- (d) プロジェクト推進状況の報告

(C) NEDO業務支援

- (a) 公募業務
- (b) 契約締結業務
- (c) プロジェクト管理ドキュメントの確認
- (d) プロジェクト執行時定型業務

- (e) プロジェクト執行時非定型業務

- (f) ピアレビュー(自己点検及び専門的観点からの技術評価)関連業務

- (g) プロジェクト終了時業務

(D) PD、SPD、内閣府業務支援

- (a) PD、SPD支援業務
- (b) 内閣府支援業務
- (c) イベント、広報支援

(E) 人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備に関する支援業務

調査分析・業務支援の業務内容 | (A)調査業務

(A)調査業務

- SIP第3期の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」に関し、先に示した2課題について事業遂行に必要な周辺動向(技術、政策等)を調査する。
- 調査や分析にあたっては、PD、サブPD(SPD)、内閣府、NEDOと十分相談を行いながら進めること。
 - 国内外の技術動向、市場動向
 - 政策動向
 - 社会実装に向けたビジネスモデル、想定される市場

調査分析・業務支援の業務内容 | (B)プロジェクト管理体制

(B)プロジェクト管理体制

(a)PMの委嘱

- 対象2課題のプロジェクトについて、それぞれNEDOが指示するPMを委嘱すること。
本業務については2課題のPM1名とサブ課題担当PMを委嘱し、
謝金及び旅費を支払うこと。

(b)プロジェクト管理体制の整備

- 対象2課題それぞれに対して、PMを中心とした体制を整えること。
- それぞれのプロジェクトを管理するために必要なサブPM、業務担当からなる体制を整え、
遅滞なくスムーズなプロジェクト管理業務を進めること。
- ITインフラ(Web会議、ファイル共有等)についても環境を整えること。
なおITインフラ整備で利用するサービスに関しては、ISMAP認証に配慮すること。
- また、プロジェクトに係る会議等の記録を適宜整備し記録すること。

調査分析・業務支援の業務内容 | (B)プロジェクト管理体制

(c)委員会の設置

- PD、SPD、内閣府、NEDOと協議の上、プロジェクト運営に必要な委員会を設置し、運営を行うこと。会議はオンラインを原則とし、必要に応じて対面で開催する。
- また、会議等の記録を適宜整備し記録すること。

(d)プロジェクト推進状況の報告

- プロジェクトの予算執行状況を把握し、各サブ課題の予算執行状況、プロジェクトの進捗状況を把握し、PD、SPD、内閣府、NEDOに報告すること。

調査分析・業務支援の業務内容 | (C)NEDO業務支援

(C)NEDO業務支援

- 構築した体制により、PD、SPDと連携し各課題の研究開発を公募段階から主体的に推進する。
事業運営にあたっては、「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」に掲げられている研究推進法人のマネジメント業務を推進すること。
- なお、2課題で契約する事業者数は追加公募を含めて45事業者程度、追加公募は年間で最大5回程度と想定している。

(a)公募業務

- 公募予告、公募(仕様書等資料一式準備を含む)、採択審査委員会(資料作成、委員向けレク、採択審査委員会準備及び運営含む)、NEDOによる二次審査(資料作成含む)、事後の採択審査委員会資料の取りまとめを支援する。
- なお、採択審査委員会の委員謝金、旅費はNEDOが支払い手続きを行う。

調査分析・業務支援の業務内容 | (C)NEDO業務支援

(b)契約締結業務

- 実施計画書確認(体制表、項目別明細表、積算表を含む)、契約書類一式準備等の業務を支援する。

(c)プロジェクト管理ドキュメントの確認

- データマネジメントプラン、知財及びデータの取り扱いについての合意書について事業受託者に作成を依頼し、確認・受領後NEDOに提出する。

(d)プロジェクト執行時定型業務

- 各サブ課題のプロジェクトの進捗及び課題管理、従事日誌の確認・受領対応、予算執行管理、各種検査(中間検査、年度末検査、経理指導等)に対する問い合わせ対応及び資料準備、固定資産処理、中間年報及び年度末提出書類の提出依頼・確認・受領、概算払い等の業務を支援する。

調査分析・業務支援の業務内容 | (C)NEDO業務支援

(e)プロジェクト執行時非定型業務

- 契約変更に伴う問い合わせ対応及び資料一式準備(仕様書及び実施計画書の内容確認含む)、体制含む各種登録情報の変更や資産管理、特許申請、成果等情報公開に伴う各種申請に対する問い合わせ対応、申請書類・帳票の確認・受領、専門家の出張(海外を含む)に伴う決裁・手配・精算等の処理等の作業の支援を行う。
- また、有識者のサイトビジット・出張、会議出席の謝金及び旅費を支払う。サイトビジット・出張は、国内20人回/年、会議出席は20人回/年を想定する。(なお、海外出張等の予算執行については、あらかじめPD、内閣府、NEDOの合意を得た上で計画的に実施するものとする。)

(f)ピアレビュー(自己点検及び専門的観点からの技術評価)関連業務

- ピアレビュー委員会(各課題毎年度1回)について、自己点検報告書案作成、委員会準備、委員向けレク、当日運営、コメント整理、評価結果報告書案作成等を支援する。
- なお、ピアレビュー委員会の委員謝金、旅費はNEDOが支払い手続きを行う。評価委員会へのピアレビュー委員長、PDの謝金・旅費の支払い手続きは受託者が行うこと。

調査分析・業務支援の業務内容 | (C)NEDO業務支援

(g)プロジェクト終了時業務

- 確定検査準備(問い合わせ対応及び資料準備)、固定資産処理、成果報告書や実績報告書の実施者への作成指示、内容確認及び受領、プロジェクト成果報告書(PD、SPD、内閣府と連携し必要に応じて作成)等の業務を支援する。

調査分析・業務支援の業務内容 | (D)PD、SPD、内閣府業務支援

(D)PD、SPD、内閣府業務支援

- 対象の2課題の研究開発の推進にあたり、PD、SPD、内閣府と連携し、その支援を行う。

(a)PD、SPD支援業務

- PD、SPDと連携して調査、資料の作成、会議の設定及び運営を支援する。また、国際連携等の活動に関する支援を行う。

(b)内閣府支援業務

- 必要に応じて、事業予算管理支援、研究開発計画更新支援、次年度予算案策定支援、研究拠点視察支援、SIPシンポジウム支援、有識者によるヒアリング、グローバルベンチマーク資料作成、マッチングファンド調査、その他プロジェクトに関連する資料の作成支援、会議の設定及び運営等支援を行う。

(c) イベント、広報支援

- 対象の2課題に関し、内閣府やNEDOによるプレスリリースやWeb・SNSを通じた情報発信の内容確認、イベント(展示会、セミナー)の告知等の支援を行う。予算の範囲内で小規模なイベントの企画・準備・運営やWeb・SNSを通じた情報発信を行う。
- 別の事業者イベントや情報発信をNEDOより委託する場合には、効率的な運営や情報発信となるよう受託事業者に対して助言を行う。

調査分析・業務支援の業務内容 | (E)人協調型ロボに関する支援業務

(E)人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備に関する支援業務

- 「人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」に関しては、以下の支援業務を実施、または検討すること。
 - 1) PDが受託者に依頼した作業について、受託者からの委託・発注時には、受託者と当該委託・発注先の組織との打ち合わせにPD、PD補佐等が参加できること
 - 2) 推進コアの強化のため、受託者が行う全体運営への支援業務としてPDと共に推進コアの業務体制を構築し、実施すること
 - 3) PDとmacOSでの共同制作モード(Keynote、Pages等)での作業を行うこと
 - 4) HCPS融合サイバニクスへの理解を深め、持続的・発展的経済サイクルを有する事業モデルの提案(ビジネスモデル提案)を行うこと

調査分析・業務支援業務の実施にあたっての注意事項

- NEDOが担当するSIP3課題の研究開発に参画する大学・企業等との利害関係による利益相反を発生させないよう、実施体制、情報管理体制、守秘義務を課す誓約書の準備等、細心の注意を払うこと。
- 各研究開発テーマに関し、遵守すべき法令を調査して研究開発テーマ受託者に提示し、受託者とその法令を整合した上で遵守を推進すること。
また、受託者から法令遵守の状況について把握し、NEDOに報告すること。
- NEDOの指示に従ってPMを委嘱し、PMとともに本業務を運営すること。
PMへの委嘱状には守秘義務を記載し、PMから承諾書を得ること。
PMは2課題別々に委嘱することとする。
ただし、ひとつのテーマでPMを複数人設定することは妨げない。

提案時の注意事項

提案時の注意事項

【受付方法】 要注意

- 本公募は、電子申請システム「Jグランツ」で応募を受け付けます。
また当該申請システムを通じて行われた申請に対する採択・不採択結果についても、原則として当該申請システムで通知等を行います。
- なおJグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」又は「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。
GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。GビズIDが無いと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。

【受付期間】

2026年1月9日(金)～2026年2月9日(月)正午まで(アップロード完了)

【提出先及び提出方法】

- 以下の公募ページに記載のJグランツの申請フォームから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行ってください。
- [「戦略的イノベーション創造プログラム\(SIP\)第3期／人協調ロボティクス及びバーチャルエコノミーにおける総合調査研究及び事業運営支援業務」の公募について | 公募 | NEDO](#)

提案時の注意事項

【留意事項】

- 提出書類は日本語で作成してください。
- Jグランツ上の申請は提出期限を厳守ください。提出期限を過ぎた提案は受け付けません。*
- 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- 他の提出方法(持参、郵送、FAX又はE-mail等)による提出は、原則受け付けません。
- 万が一、応募者の責に依らない理由(例:組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない等)により、提出期限までにJグランツ上の申請処理が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。

*システム上の制約で、データ容量オーバーで応募が受け付けられないケースも想定されます。

また、通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。

特に、提出期限直前は混雑する可能性があります。入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て提出まで完了できなかった場合も、受け付けることができません。

再提出は受付期間内であれば可能です。

提出には、締め切りまでの時間的な余裕をもって提出されるようお願いします。

提案時の注意事項

【応募要件】

応募資格のある法人は、次の(1)～(3)までの全ての条件を満たすことのできる、単独又は複数で受託を希望する**企業**とします。

- (1) 当該技術分野又は関連技術分野の調査／支援実績を有し、かつ、調査／支援目標達成及び調査／支援計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- (2) 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- (3) NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。

特に、SIP第3期の目的や制度、運営体制、社会実装に向けて市場動向・規模調査や戦略策定・企画立案なども可能であること。

提案時の注意事項

【審査基準】

i. 調査・支援の適合性

(本事業の**目的・仕様**に**合致**しているか 等)

ii. 調査・支援の具体性・優位性

(調査・支援内容に**具体性**があるか、調査・支援スケジュールが効率的かつ効果的か、提案に**優位性**があるか 等)

iii. 実施体制・能力

(役割分担が明確で適切な**遂行体制**か、必要な人員・力量・設備・支援体制や関連分野の**実績**を有するか等)

iv. 提案の経済性

(予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく**妥当な予算規模**か 等)

v. 経営基盤

(**経営状況**は良好か 等)

vi. 総合評価

なお、採択審査にあたり、以下の要素で**加点**を行います。

・女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点します。

提案時の注意事項

【採択先の公表及び通知】

a.採択結果の公表等

採択した案件に関しては、事業者名(再委託先・共同実施先含む)、事業概要をNEDOのウェブサイト等で公表します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b.採択審査委員の氏名の公表

採択審査委員の氏名は、採択案件の公表時に公表します。

c.附帯条件

採択に当たって条件(予算や体制の変更、経費の支払方法 等)を付す場合があります。

提案時の注意事項

【契約書】

新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約契約・調査委託契約約款を適用します。
また、「秘密情報等の管理に係る特別約款」を適用します。

・約款・様式:

調査委託契約標準契約書

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

【事務処理】

委託契約における事務処理については、委託業務事務処理マニュアルを適用します。

・委託業務事務処理マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

問い合わせ先

- ・本公募の内容に関する質問等は説明会で受け付けます。

それ以降のお問い合わせは、2026年1月19日(月)から2月2日(月)の間に限り、以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
自動車・蓄電池部 SIPチーム 大島、田坂、井出本
E-mail:nedo-sip3-public [at] nedo.go.jp